

LEXUS TEAM ZENT CERUMO

2018 AUTOBACS SUPER GT Report

FUJI GT 500km RACE

第2戦 富士スピードウェイ

ZENT CERUMO LC500

#38 立川祐路／石浦宏明

◆5月3日（木・祝） QUALIFY

公式予選総合結果 1位（1分27秒904）

ポイントこそ獲得したものの、予選までの苦戦や決勝での接触等、苦しい戦いとなった第1戦岡山から1ヶ月近く経ち、SUPER GTの2018年シーズンは第2戦富士スピードウェイを迎えた。ゴールデンウィークの一戦で多くのファンが訪れることはもちろん、LEXUS TEAM ZENT CERUMOにとって富士はホームコース。そして、2017年に優勝を飾っている思い出のあるレースだ。



第1戦で思うように獲得できなかったポイントの分も、このレースでは大量得点を狙いたい……。チームは準備をしっかりと整え、5月2日（水・祝）の搬入日を過ぎた。ただ、チームが作業を終える頃、富士スピードウェイにはポツポツと雨が降り出した。次第に雨は強くなり、夜半には強い風雨が襲う。幸い5月3日（木・祝）の予選日早朝に雨はほとんど止んだが、路面はすっかり濡れていた。

さらに、午前8時40分から予定されていた公式練習を前に、富士スピードウェイには少しずつ霧が立ちこめはじめた。霧はどんどんと濃くなると、LEXUS TEAM ZENT CERUMOのピットから、ファンが詰めかけているはずのグランド

ZENT

LEXUS

Racing Development
TRD

BRIDGESTONE

PMU
RACING PADS

EXEDY

WAKOS

asics

BBS

PREMIUM WATER
RADIATOR FAN SYSTEM

HEISEL

トヨタ東大

TAMACHI

LEXUS TEAM ZENT CERUMO

スタンドを目視することもできない状態に。大会競技長は、走行を前にしてセッションのディレイを宣言した。ただ、待てども待てども霧は薄くならず、午前10時15分に公式練習の中止が決定した。



午後を前に、急遽午後0時50分から30分間の公式練習がリスケジュールされ、公式予選はノックアウト方式から20分間で計時される形式となり、ドライバー登録が不要になった。ただ、公式練習が設けられたとはいえ、30分間の走行でできることは非常に少ない。LEXUS

TEAM ZENT CERUMO は立川祐路を予選のアタッカーに据え、30分間で予選に向けたセットアップの確認を行った。

迎えた午後3時15分からのGT500クラスの公式予選。20分1回という通常とは異なるフォーマットだが、ステアリングを握った立川はまず一度コースインし、じっくりとタイヤを温めながらアタックを一度行っていく。セクター1でベストタイムを記録した立川は、まずは1分28秒790をマークし、あまり好感触は得ていないながらも6番手につけ、一度ピットに戻っていった。

残り8分、立川はふたたびコースインし、チェッカーに向けてアタックを行っていった。残り2分というタイミングで、これまでも富士スピードウェイで数多くの栄冠を残してきた立川がその実力を発揮する。多くのマシンが1分28秒台前半を記録していくなか、ただひとり27秒台に入れる1分27秒904をマーク！ さらにライバルを引き離すべく、セクター1でふたたびベストタイムを更新していった。

ただ、ライバル勢がタイムを更新できないことを確認した立川は、そのままピットへ。ただひとり27秒台をマークした立川とZENT CERUMO LC500は、見事ポールポジションを獲得してみせたのだ。これで立川は他の追従を許さない通算23回目のポールポジション記録更新となった。

ZENT

LEXUS

Racing Development
TRD

BRIDGESTONE

PMU
RACING PADS

EXEDY

WAKOS

asics

BBS

PREMIUM WATER
Rakuten VIXEN POWER

HEISEL

トヨタ東大

TAMACHI

LEXUS TEAM ZENT CERUMO

5月4日(金・祝)の決勝に向けて、絶好の位置を獲得した ZENT CERUMO LC500。霧による公式練習中止の影響で石浦はこの日、一度もステアリングを握ることはなかったが、これまでの実績から、「立川選手の走りを観て、クルマの状態も良さそうですし、富士は走り慣れていますから」と力強く語っている。昨年勝利の再現に向け、一步近づいたと言えよう。



ドライバー／立川祐路

「変則的なスケジュールもあって、手ごたえもないままの予選になったので、今日のポールポジションは予想できなかったですね。それだけにすごく嬉しいです。1セット目のタイヤではあまりアタックはうまくいかなかったのですが、2セット目ではうまくアタックすることができました。今日はポールポジションを獲得しましたが、明日は明日で違いますからね。それに今日はロングランが一切できていない。明日に向けては未知数なので、仕切り直してしっかり準備をし、ミスなくきっちり戦い、昨年と同じ結果を残せたらと思っています」



ドライバー／石浦宏明

「今日は一度もドライブしていないので、こんな不思議な気持ちのポールポジションは初めてですね(笑)。ただ去年も予選 Q2 を観ていて、ポールポジションを獲得るかな、と思っていたら立川選手がきっちり獲ってくれましたから。富士の“近道”を知っている立川選手にアタックしてもらって良かったです。明日は長いレースになりますが、ふだんのレース以上にミスをしないことが大事です。そうすれば結果は自ずとついてくると思いますので、僕も自分のベストを出し切



ZENT

LEXUS

Racing Development
TRD

BRIDGESTONE

PMU
RACING PADS

EXEDY

WAKOS

asics

BBS

PREMIUM WATER
Radically Pure. 100% Pure.

HEISEL

トヨタ東大

TAMACHI

LEXUS TEAM ZENT CERUMO

って走りたいと思います」

浜島裕英監督

「ポールポジションを獲得できて良かったです。エンジニアが
いいクルマを作ってくれて公式練習からクルマの状態も良か
った。今の SUPER GT は接戦で、走りはじめのスタートで出
遅れてしまうと、取り返すことが本当に難しい。このレベルで
あれば立川選手ならポールポジションを狙えると感じていま
した。昨年はこのレースで優勝できましたが、内容としては決
していいレースではなかった。展開で勝てた部分もあったので、
今日のいいクルマをしっかりと保ち、タイヤに合わせてセットアップできれば、
いい結果が残せるのではないのでしょうか」



ZENT

LEXUS

Racing Development
TRD

BRIDGESTONE

PMU
RACING PADS

EXEDY

WAKOS

asics

BBS

PREMIUM WATER
Radically Pure. Deliciously Pure.

HEISEL

トヨタ東自大

TAMACHI

LEXUS TEAM ZENT CERUMO

公式予選結果表

| Rank | Car No. | CarName | QF Time |
|------|---------|-----------------------------|----------|
| 1 | 38 | ZENT CERUMO LC500 | 1'27.904 |
| 2 | 6 | WAKO'S 4CR LC500 | 1'28.074 |
| 3 | 23 | MOTUL AUTECH GT-R | 1'28.147 |
| 4 | 36 | au TOM'S LC500 | 1'28.229 |
| 5 | 39 | DENSO KOBELCO SARD LC500 | 1'28.471 |
| 6 | 16 | MOTUL MUGEN NSX-GT | 1'28.524 |
| 7 | 3 | CRAFTSPORTS MOTUL GT-R | 1'28.571 |
| 8 | 19 | WedsSport ADVAN LC500 | 1'28.638 |
| 9 | 1 | KeePer TOM'S LC500 | 1'28.676 |
| 10 | 100 | RAYBRIG NSX-GT | 1'28.683 |
| 11 | 64 | Epson NSX-GT | 1'28.808 |
| 12 | 8 | ARTA NSX-GT | 1'28.838 |
| 13 | 12 | カルソニック IMPUL GT-R | 1'28.884 |
| 14 | 17 | KEIHIN NSX-GT | 1'28.907 |
| 15 | 24 | フォーラムエンジニアリング ADVAN GT-R | 1'28.978 |

ZENT

LEXUS

Racing Development
TRD

BRIDGESTONE

PMU
RACING PADS

EXEDY

WAKOS

asics

BBS

PREMIUM WATER
Rakuten VIXI SPORTS SERVICE

HEISEL

トヨタ東大

TAMACHI